



2026年

2月

katerie in 子育てプロジェクト のお知らせ

下記の日程にて子育て支援スタッフがkaterie
キッズスペースに常駐しています。
常駐に集った皆さんと、何気ないおしゃべりをし
たり楽しく役立つイベントなど開催いたします♪
安心してお気軽にお越しくださいね♪

月	火	水	木	金	土	日
2月						1
2	3 Katerie 休館日	4	5 ごはんイベント 子育てひろば・常駐	6 常駐	7 常駐	8
9	10 Katerie 休館日	11 性教育イベント	12 常駐	13 常駐	14 常駐	15
16	17 Katerie 休館日	18	19 常駐	20 常駐	21 常駐	22
23	24 Katerie 休館日	25	26 常駐	27 常駐	28 子育てひろば 常駐	

2月の子育てひろば

5日(木) おしゃべりカフェ
28日(土) お口の体操

カテリエキッズスペースで
10:00~12:00 開催!

2/28(日)、12月に好評だったお
口の体操を、今回は風船も作りな
がらやってみます。
どうぞお越しくださいね。



イベント ひとつめ

まさちゃんと おひるごはん

あわわ(栗)ご飯で
老若男女みんな
あわわ◎

【教えてくれる人】内村 正子さん(1, 3, 6歳のお母さん)
【日時】2月5日(木) 10:30~12:30
【場所】交流拠点施設Katerie(クッキングラボ)
【内容】正子さんが産前産後に特に助かった♪という栗(あ
わ)を使ったごはんとおやつをみんなで作っていただきます。
●対象…どなたでも。お子さんも連れてぜひどうぞ。
はじまるスタッフが見守りをお手伝いします。
●参加費…大人お1人500円 子ども無料
●予約…1/29(木)までにご連絡をお願いします。

イベント ふたつめ

助産師さんに聞く

今どきの性教育

子どもが興味を持った
その時、どう伝える?

【お話】吉田美香さん(momo助産院)
【日時】2月11日(水・祝) 10:30~12:00
【場所】交流拠点施設Katerie(大会議室)
【内容】思春期はもちろん! 赤ちゃんの頃から家庭でできる
あれこれ、今どきの事情など…妊婦健診でもお馴染みの助産
師さんにお話を伺います。自分のこと、子どものこと、疑問や
不安もぜひ聞いてみてください。
●対象…どなたでも。乳幼児を持つ親御さん、中・高生、一般
の方。お子様連れでもぜひどうぞ。
●参加費…無料
●予約…会場での参加/不要
ZOOMでの参加/必要

日常の何気ないことも、
性に関わること!?

下記のどちらかで2/1(水)までにお申込み下さい。

- ①電話 67-2525(ファミサポセンター)
- ②はじまる公式LINE





ふーみんの 音楽遊び

こどもも大人も音にワクワクしたり、歌声にゆったりしたり。リズムに合わせて親子で、みんなで、た～くさんふれあって笑顔いっぱいになりました。



12月イベントのご報告



子どもの予防接種

ワクチンの内容や効果を詳しく学びました。個人を守る、社会を守る予防接種。理解を深めるのと同時に、接種は義務ではなく、個人の考えが尊重されるべきであることを確認しました。



子育てひろばより

☆ カテリエで見つけたイクメンパパ ☆
休日に遊びに来てくれる親子がいます。常駐しているスタッフに、さわやかな声で挨拶をしてくれます。こどもさん二人と親子で遊ぶ様子を見ていつも感心させられます。
お弁当を持って来て、長時間こどもの遊びを見守る様子。声掛けは穏やかで優しい口調。危ない時には、「それをするとは危ないよ、落ちるよ。」片付けの時には、「〇〇(お子さんの名前)、片づけして次の遊びにしようね。」しつけの事も考えて教えながら、こどもの性格を理解して声掛けをしています。
時には、一緒に遊んでいるこどもさんの見守りもして、面倒を見てくれています。

頑張っているパパの紹介でした。



社内研修のご紹介

子ども・子育て支援全国セミナーin熊本 ～オンデマンド配信

①乳児期から育むデモクラシー

武田信子氏(一般社団法人ジェイシス代表理事)

⇒海外の事例も交えてのお話、日本での日常とは多くの異なる点にハッとしました。

○こどもが大人と対等に対話する、という発想がない日本社会。対話できる大人が育っていくことで、社会が変わる。

○デンマークでは、相手が赤ちゃんであっても小さいこどもであっても、
(信頼関係あっての上で)

- ①相手の都合を聞き意思を確認する。
 - ②自分の都合を伝える。
 - ③合意点を見つける努力をする。
 - ④妥協点に落とし込む。または、新しい提案をする。
- これが民主主義につながっている☆

聞ける大人
伝えるこども。
自分たちで社会を
つくる。

こどもの視点
になればこそ。
社会でこんな意識が
広がれば...

○カナダで病児保育について尋ねたところ、こどもの体調不良で親が仕事を休むのは当然。会社がその休みを受け入れるも当然のこと。病気の子どもは親と一緒に居たいと思うはず。それが、こどもまん中社会！

②安心と挑戦の循環をどう作るか

遠藤利彦氏(東京大学大学院教育学研究科教授)

⇒子どもの視点？大人の視点？こちらでも出てきました。

○ヒトの子育ては本来、親以外の人も関わる集団共同型子育て。母親、家族だけの子育てになっていないか。共同の仕組みを意図的に作っていく必要がある。大人・こどもの仕組みだけでなく、異年齢のこども同士の要素も大切。

○子育て支援が親のニーズに応えるためのものになっている!?

○アタッチメントとは、スキンシップを意味するのではなく、こどもが不安な時に安心感を与えること。安心感があり、帰っていくところがあるからこそ、新しいこと、新しいところへこどもは挑戦していく。

ご協力のおねがい

- ・キッズスペースは、保護者が同伴でのご利用をお願いしております。
- ・かてりえ職員やスタッフは、託児ができませんのでご了承ください。
- ・おもちゃを使ったあとは、片付けと次の方が使いやすいような環境整備にご協力ください。
- ・飲み物などは各自ご持参ください。
- ・紙オムツや個人のごみは、各自持ち帰っていただくようお願いします。

※お問い合わせ等、何かありましたら下記担当までご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。
発行元:NPO法人 はじまる 担当:利用者支援事業 山中 京美

TEL090-8399-2952 (子育て支援携帯)

村内無料電話(7)67-2525 または0982-67-2525

椎葉村ファミリーサポートセンターまで